



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月2日

上場会社名 マックスバリュ西日本株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8287 URL <http://www.maxvalu.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加栗 章男
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 井戸 智文 TEL 082 (535) 8500
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	132,067	-	1,436	-	1,549	-	174	-
25年2月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 1,171百万円 (-%) 25年2月期第2四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	6 66	6 64
25年2月期第2四半期	-	-

(注) 平成26年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	91,386	42,285	45.9	1,603 78
25年2月期	-	-	-	-

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 41,959百万円 25年2月期 -百万円

(注) 平成26年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	-	0 00	-	35 00	35 00
26年2月期	-	0 00	-	-	-
26年2月期(予想)	-	-	-	35 00	35 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	269,000	-	6,500	-	6,600	-	2,600	-	99.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注) 平成26年2月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）永旺美思佰樂（青島）商業有限公司、除外 1社（社名）

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	26,198,609株	25年2月期	26,196,409株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	35,646株	25年2月期	35,484株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	26,161,831株	25年2月期2Q	26,150,633株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国の経済は、新政権発足以降の大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する「三本の矢」の成長戦略を受け、株高基調に転じるなど景気回復への明るい兆しが見え始めたものの、中国における経済成長率の鈍化、円安による輸入価格の上昇など、国内景気を押下げるリスク要因も残されています。

当社グループが所属するスーパーマーケット業態においては、ドラッグストアやコンビニエンスストアなどの新興勢力によるシェア争いが激化しており、厳しい状況が続いております。

このような中、当社グループは、各地域のシェア拡大に向け、新規店舗の出店や成長力が落ちてきた店舗への活性化投資を図る一方で、成長戦略の一環として「中国事業の展開」にも注力することで強固な経営基盤の構築に努めました。

当第2四半期連結累計期間においては、マックスバリュ4店舗を新規開店しました。概要につきましては、4月に愛媛県西条市においてマックスバリュ西条大町店、6月には広島県広島市においてマックスバリュエクスプレス草津南店、7月には愛媛県松山市においてマックスバリュ久万ノ台店、さらに、8月には兵庫県姫路市においてマックスバリュ書写店を建替え(スクラップ&ビルド)いたしました。一方で、兵庫県姫路市において2店舗を閉店いたしました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は172店舗となっております。

また、中国事業の展開については、前事業年度に子会社を設立し、8月2日に中国事業1号店となる「マックスバリュ万邦中心店」を山東省青島市に開店いたしております。

商品面におきましても、「旬」や品質にこだわった果物の訴求、地場漁港直送の新鮮な鮮魚販売、簡便性食品の志向が高まる中であって伸張している冷凍食品やサラダ、惣菜などの売場拡大や、短時間で調理のできる味付け焼肉やレンジアップ商品の強化を図ってまいりました。併せて、コンビニエンスストアが強みとするデザート及びパーソナル飲料の品揃えを拡大しております。

営業力強化に向けた取組みの柱としましては、既存店舗の活性化(リニューアル)による競争力向上を図っております。主な内容として、地域のお客さまの生活スタイルに対応したこだわりの売場構築や商圈における店舗特性を踏まえた活性化を当第2四半期連結累計期間に48店舗実施いたしました。

また従来からの取組みとして、品質・価格ともに充実したイオンのブランド「トップバリュ」商品の拡大、週単位で季節催事や行事に合わせたお買い得品の展開(52週マーチャング)、また「お客さま感謝デー」、「マックスデー」、「ザ・ビッグデー」、「お客さまわくわくデー」、「火曜日・水曜日」などの主力セールスの強化に取り組みしました。

これらの取組みの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、1,291億11百万円、営業収益1,320億67百万円、営業総利益325億99百万円となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、販促強化による広告宣伝費及び人件費の増加、既存店活性化による投資、電気料金単価の値上げ等による設備費の増加、中国事業に係わる経費等によって、311億63百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業利益14億36百万円、経常利益15億49百万円、四半期純利益1億74百万円となりました。

(注) 文中表記について

(トップバリュ商品)

- ・衣食住にわたり「安全・安心・正直」をコンセプトとして、ナショナルブランドと同等以上の品質で、かつお買い得価格で提供するイオンのブランド

(お客さま感謝デー)

- ・毎月20日・30日にイオンクレジットカードでのお支払い又はご提示、WAONカードでのお支払いで表示価格より5%割引にて提供する定期的催事

(マックスデー、ザ・ビッグデー)

- ・日ごろからマックスバリュ、ザ・ビッグのお店をご利用いただいているお客さまへ感謝の気持ちを込め、月に1度(暦の第2日曜日)、一部の商品を除き、売場にある全商品を表示価格から5%割引にて提供する定期的催事

(お客さまわくわくデー)

- ・毎月5日・15日・25日にイオングループ各社で発行している電子マネーWAONカードのお支払いでWAONポイントが2倍になる催事

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、913億86百万円となりました。主な内訳は次のとおりです。流動資産は258億97百万円であり、その内訳は商品88億34百万円、現金及び預金76億84百万円等であります。固定資産は654億88百万円であり、その内訳は有形固定資産456億74百万円、投資有価証券95億35百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、491億円となりました。その内訳は、支払手形及び買掛金287億87百万円、資産除去債務27億48百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、422億85百万円となりました。その内訳は、利益剰余金306億67百万円、その他有価証券評価差額金49億51百万円等であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、76億84百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間に営業活動の結果獲得した資金は63億72百万円となりました。これは主に、仕入債務の増加33億90百万円、減価償却費の計上25億24百万円及び減損損失の計上9億53百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間に投資活動の結果使用した資金は29億48百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出26億91百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間に財務活動の結果使用した資金は12億5百万円となりました。これは主に、配当金の支払額9億14百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成25年9月20日に公表いたしました「業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、前事業年度に子会社として永旺美思佰樂（青島）商業有限公司を設立したことに伴い、第1四半期連結会計期間から、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
 (平成25年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	7,684
売掛金	502
商品	8,834
貯蔵品	69
その他	8,805
流動資産合計	25,897
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	29,441
土地	7,310
その他(純額)	8,922
有形固定資産合計	45,674
無形固定資産	
投資その他の資産	
投資有価証券	9,535
その他	9,661
投資その他の資産合計	19,196
固定資産合計	65,488
資産合計	91,386
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	28,787
未払法人税等	588
賞与引当金	259
役員業績報酬引当金	5
設備関係支払手形	2,060
その他	8,186
流動負債合計	39,888
固定負債	
長期借入金	250
資産除去債務	2,748
退職給付引当金	497
その他	5,715
固定負債合計	9,211
負債合計	49,100

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間
(平成25年8月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,670
資本剰余金	4,644
利益剰余金	30,667
自己株式	△43
株主資本合計	36,938
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	4,951
為替換算調整勘定	69
その他の包括利益累計額合計	5,020
新株予約権	90
少数株主持分	235
純資産合計	42,285
負債純資産合計	91,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	129,111
売上原価	99,467
売上総利益	29,643
その他の営業収入	2,956
営業総利益	32,599
販売費及び一般管理費	31,163
営業利益	1,436
営業外収益	
受取利息	8
受取配当金	107
その他	48
営業外収益合計	164
営業外費用	
支払利息	30
遊休店舗地代	9
その他	12
営業外費用合計	51
経常利益	1,549
特別損失	
固定資産除売却損	18
減損損失	953
その他	18
特別損失合計	990
税金等調整前四半期純利益	558
法人税、住民税及び事業税	543
法人税等調整額	△139
法人税等合計	404
少数株主損益調整前四半期純利益	153
少数株主損失(△)	△20
四半期純利益	174

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	153
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	930
為替換算調整勘定	86
その他の包括利益合計	1,017
四半期包括利益	1,171
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,174
少数株主に係る四半期包括利益	△3

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成25年3月1日
 至 平成25年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	558
減価償却費	2,524
減損損失	953
有形固定資産除売却損益(△は益)	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	△3
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△29
退職給付引当金の増減額(△は減少)	24
受取利息及び受取配当金	△116
支払利息	30
売上債権の増減額(△は増加)	△90
たな卸資産の増減額(△は増加)	306
仕入債務の増減額(△は減少)	3,390
未払消費税等の増減額(△は減少)	535
未払金の増減額(△は減少)	143
未収入金の増減額(△は増加)	△1,415
その他	1,077
小計	7,890
利息及び配当金の受取額	110
利息の支払額	△24
法人税等の支払額	△1,603
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,691
無形固定資産の取得による支出	△11
差入保証金の差入による支出	△281
差入保証金の返還による収入	223
預り保証金の返還による支出	△88
預り保証金の預りによる収入	35
その他	△133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,948
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△514
連結子会社設立に伴う少数株主からの 払込みによる収入	238
配当金の支払額	△914
その他	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	79
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,298
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	954
現金及び現金同等物の期首残高	4,431
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,684

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。